

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	厚岸町子ども発達支援センター			
○保護者評価実施期間	7年 11月 4日		～	7年 11月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	7年 11月 4日		～	7年 11月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	7年 12月 25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃から子どもの状況を保護者の方と伝え合い、発達の状況や課題について共通理解を図っています。子どもや保護者の気持ち、子どもにとって過ごしやすい環境や活動内容等、子どもや家族の意向を確認する機会を意識的に設けて、その上で個別支援計画を作成していることです。	個別支援計画を更新するごとに、利用児や家族の生活に対する意向も確認をしています。利用児には学校での困りごとや頑張りたいと思っていることはあるか要望の聞き取りをしています。保護者の方には、学校や家庭等で過ごしているときの様子について聞き取りをしたり、要望を聞いています。	今後も利用児及び家族の要望や意向の確認をしながら個別支援計画を作成します。ニーズと課題を客観的に分析することで改善できる点もあると思うので、改善していきます。
2	支援に関する打ち合せや振り返りを行い、スタッフ間で情報共有をし、チームで支援をしていることです。	その日の打ち合せや支援後の振り返りはどちらも毎日行っています。子ども1人ひとりに対して振り返りを行い、細かなことも職員間で共有するように意識しています。	職員間での目的、目標、手段の統一化については改善ができる点もあると思うので、より良い支援ができるように職員間でも話し合い改善できるようにしていきます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	未就学の子どもにとっては十分なスペースでも、就学児の子どもにとっては思い切り走るのにスペースがやや狭いことです。	パーティションで区切ると部屋が狭く感じます。	今後もスペースの有効活用を心掛け、机上課題や運動等の活動によって使い方を考えて活動ができるよう工夫をしていきます。就学児向けのプログラムのなど年齢に合わせた支援が実施できるようにしていきます。
2	地域に開かれた事業所、地域との交流やつながりという点では改善が必要だと考えます。	イベント等で地域のお店を利用するなど地域交流は過去にも数回ほど行っていますが、一部の公園や決まった場所の利用のみとなってしまいます。	地域にある様々な公共施設やお店についての情報収集をしていきます。今後も、地域に開かれた事業所運営ができるようにしていきます。
3	ご家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）やご家族が参加できる研修などの情報提供を行っていないことです。	家族支援プログラムの体制は整っておりません。そのため、個別に相談や助言等の支援をおこなっています。	プログラムとしてのペアレントトレーニングは現在実施していないため、今後保護者ニーズを把握し必要に応じて検討いたします。また、保護者向け研修等があったときはお知らせしていきます。